

第45回 公共料金等専門調査会 ～電力・ガス小売の全面自由化について～

平成30年4月26日（木）



電力・ガス取引監視等委員会
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

システム改革の目的

1

需要家の選択肢や事業者の事業機会を拡大する

需要家のニーズに多様な選択肢で応える。また、他業種・他地域からの参入、新技術等の活用を通じてイノベーションを誘発。

2

料金を最大限抑制する

エネルギー事業者間の競争や、他業種・他地域からの参入を促し、料金を最大限抑制。

3

安定供給を確保する

震災時の経験を踏まえ、地域をつなぐ送電網の増強、需給調整能力の向上等を通じて、地域を越えた電気のやりとりを促進。また、ガスについても、都市ガス導管網の整備・相互接続を促進。



エネルギー産業の産業競争力を強化し、
国際展開を通じて、海外市場の開拓・獲得を実現